

# 3月22日 新「長門市」誕生

## 新「長門市」の出發に向けて



長門市長  
松林正俊

私たちのまち長門市が昭和29年に誕生して51年になります。その間、時代は昭和から平成へ、そして21世紀を迎え、社会や暮らしも大きく変

化してまいりました。そして今、長門市はその歴史に幕を降ろし、3月22日には新「長門市」が誕生することとなりました。



長門市議会議長  
金崎修三

## 新「長門市」のさらなる発展を

わが長門市は、昭和29年3月31日、当時の4カ町村の合併により市制を施行して以来、初めての合併を3月22日に迎え、半世紀にわたる歴史を

閉じることとなりました。昭和29年4月8日、在任特例による79名の議員で第1回臨時会が開催され、長門市議会としての第一歩を

長門市と大津郡3町は、これまで行政区域の枠を超え、生活圏・経済圏、学校関係や農・漁業団体などのエリアを共有し、密接な係わり合いを持ってまいりました。そうした1市3町が、合併によって名実ともに一体化することは、地方分権の流れの中で、少子・高齢化への対応や地場産業の振興、財政の健全化といった当面する行政課題への有効な手段であり、住民の福祉向上と行政サービスの充実を図る上で、極めて有益なことといえます。

また、合併は、それぞれの地域がもつ特性や資源を活用して新しいまちづくりを行うことであり、そのためには、先人から引き継いだ長門市

の歴史や伝統、文化を新しいまちづくりの中に生かしていくことが重要であります。私たちは、これから大津郡3町の皆さんとともに新しいまちを創ることになります。まずは地域住民の一体感を大切に、新「長門市」が、『豊饒の海と大地に、笑顔行き交う、未来のまち』として、地域住民の誰もが誇りをもてる素晴らしい個性をもったまちになることを心から願っています。

終わりに、市議会の皆様をはじめ、まちづくりの様々な分野でご協力をいただきました市民の皆様には、改めて敬意と感謝の意を表しまして、ごあいさついたします。

踏み出し、今日に至るまで住環境の整備・充実や住民福祉の増進等、時代の要請に応えるために、議会改革等研究会の創設など議会の活性化に取り組んでまいりました。

この間、時代は昭和から平成に変わり、日本経済はバブルからデフレへと激変し、私たち国民生活に与えた影響は計り知れないものがあります。一方、地方行政は自主性・自立性の確保が強く求められるなど、地方自治そのものが大きく変貌してまいりました。

こうした時代的な流れを受け、分権型社会の急速な進展により、地方自治体の自己決定権と自己責任が拡大され、これらに対応する一手法と

して、長門市は歴史的にも繋がりが深く、また、豊かな自然に恵まれた風土と一体性の高い圏域を形成する3町との合併を選択いたしました。合併は、それぞれの地域において、多くの先人が英知と脈々と培われた郷土の歴史、文化を結集し、世代を超えて「新たなまちづくり」を行うことにあると思っております。

議会は行政と立場の違いはありますが、共通の目的であります市民の幸福を願い、皆さまに合併してよかったと感じていただけるような、夢と希望にあふれた新「長門市」のさらなる発展と、まだ誰も見たことのない新しい時代のうねりに心を馳せてあいさついたします。